

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——シケの日が多かった。西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げ（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の80%（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり10kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり26kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり183kgの水揚げで、前週の12%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり25kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、マルアジなどが1日1統当たり210kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり778kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり193kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/5～7/10の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、再び大和堆周辺で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計40箱、スルメイカ（20～30入）14箱、ケンサキイカ（2立～3立）26箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>